

地域にある自然の恩恵や知的な財産（施設や人財）を活用しよう

・地域の公共施設を活用する

ねらい

- ・公共の施設を訪れ、社会とのつながりを意識する
- ・自分の住んでいるまちの歴史を知り、好きになる

自園の近くには、図書館（2階に郷土資料館）・美術館・駅・消防団等、様々な公共施設がある。その中の図書館・郷土資料館の見学を通し、地域との交流を図る。

「図書館、郷土資料館を探検だ！」

○図書館に出掛ける前に…

- ・図書館ってどんなところ？
- ・図書館で働いている人に聞いてみたいことは？
- ・図書館の2階にも部屋があるよ。何があるのかな？

グループに分かれて話し合い、質問したいことを考えた。

○図書館に到着！

図書館では2グループに分かれ、1グループは館内巡りをし、もう1つのグループは絵本や紙芝居を読んでもらう「おはなし会」に参加した。



【司書の説明を聞く子供たち】

司書の人から図書館のお約束を聞く。また、貸出カードや本を借りる場所も教えてもらう。



静かに歩いていこうね。

図書館に来たことあるかな？

たくさんの本に子供たちの胸が高まります。思わず質問したくなっちゃうね。

どれくらい本がありますか？
壊れた本は誰が直しますか？

どこで本を買ってるの？



【子供たちの質問に答える司書】

「図書館で働く人を司書と言います。司書の仕事は、図書館を案内したり図書館に置く本を選んだり、イベントを考えたりしていますよ。19万冊くらいの本があります。図書館には“ひみつの部屋”があって、そこにも本がたくさんあるのよ～。小学校のまち探検で見ることができるかも！」



“ひみつの部屋”と聞いて子供たちもわくわく！ドキドキ！



○2階の部屋は…郷土資料館

郷土と聞いただけでは分からないけれど、みんなが生まれて育ったところという説明を受け、郷土資料館の見学をした。郷土に関する文書や鬼瓦、人形、お祭りで使った装飾品等が展示されている。

かっこいいね。家の近くにもあったよ！

どうやって作るんだろう？



【経験したことを語り合う子供たち】

こんな形の瓦を見たことがあるかな？
駅のところにも大きな鬼瓦があるよね。

みんなの知っている「おまんこ祭り」で、神馬がつける飾りですね。お米や野菜がたくさんできますように、雨を降らせてください、と神様に飾り馬を納めたのよ。

おまんこ祭りの神馬の飾りだ。
神様にお願いごとをしたんだ。



【展示品に見入る子供たち】

ポイント

- ・園の職員が園周辺の地域の状況（人的・物的環境等）を把握しておく。
- ・子供たちが地域においてどのような生活や関わりをしているのか、などを情報収集し、それらを保育にどう生かすことができるのかを考えていく。
- ・地域とのつながりをもてるよう、園長等管理職が地域の会議等に参加した際に、積極的に働き掛けていく（地域を知ることは、災害等緊急避難時の園児の安全確保にもつながる）。

ふりかえり

「これは何だろう」「もっと知りたいな」様々な気づきが学びにつながる

図書館や郷土資料館の見学を通して、疑問に思ったことや聞いてみたかったことを事前に考えたり、その場で質問したりすることができた。館内で働いている人に直接話を聞くことができるのは、子供たちにとってよい体験となった。そして、自分の住んでいる“まち”に興味や関心をもち、発見や不思議体験をし、「これは何だろう？」という疑問や、「もっと知りたいな！」という思いをもつようになった。

他にも地域と連携し、公共施設を訪れることで、社会でのマナーを覚えたり、仕事に関心や憧れをもったり、自分を助けてくれるサービスがあることを知ったりするなど、様々な体験や経験が学びにつながっている。